

児童生徒の資質・能力を育成する 個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実に向けた ICT 活用

一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、資質・能力を育成することが求められています。主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善につながる、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、効果的な ICT の活用を進めていきましょう。

資 質 ・ 能 力 の 育 成

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力、
人間性等

知識及び技能

思考力、判断力、
表現力等

授業改善

主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び

各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせることが、学びの深まりの鍵になります。児童生徒一人ひとりの興味や関心、発達や学習の課題等を踏まえ、個性に応じた学びを引き出し、資質・能力を高めていくことが大切です。



授業設計診断の4項目

個別最適な学び

指導の個別化

- 支援が必要な児童生徒に、より重点的で効果的な指導をします。
- 特性や学習進度に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定をします。

学習の個性化

- 児童生徒の興味・関心等に応じ、一人ひとりに応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供します。

一体的に 充実

協働的な学び

- 探究的な学習や体験活動などを通じ、児童生徒同士、地域の方々をはじめとする多様な他者と協働できるようにします。
- 一人ひとりの児童生徒の、よい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出すようにします。

ICT の活用

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実には
ICT の活用が不可欠です。

説明動画はこちら

「全ての児童生徒の可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現に向けて」



児童生徒の学びを深めるためのポイント

個別最適な学び		協働的な学び
指導の個別化	学習の個性化	
(教師が) □一人ひとりの児童生徒の特性や学習進度、学習到達度を把握している。 □一人ひとりの児童生徒の特性や学習進度、学習到達度に応じ、指導方法・教材、学習時間の設定等を工夫している。 □特別な支援が必要な児童生徒に、より重点的で効果的な指導を行っている。	(児童生徒が) □それぞれの興味・関心に応じた学習課題を設定し、目標を持って探究している。 □自らの学習状況を把握し、新たな学習方法を見出している。 □自らの学習状況を把握し、発展的な学習を行っている。	(児童生徒が) □児童生徒同士で協働してレポート、資料、作品などを制作している。 □多様な他者（異学年、他校の児童生徒、地域の人々、専門家等）と交流している。 □異なる感性や考え方を尊重し、多様な意見を基に自らの学習を深め、広げることができている。



どうしたら効果的に ICT を活用できるだろう？

□（児童生徒・教師が）ICT の特性や強みを生かして活用している。



ICT を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた

実践事例

小学校3年生「国語」

本時の活動：〇〇になりきって詩をつくろう。

課題設定の場面でカメラ機能の活用



詩の題材にしたいものをタブレット端末のカメラ機能を使って撮影し、画像を基に、その特徴について考える。

文字入力方法の選択

文字を入力するときは、**タッチペン**か**キーボード**から自分で選択する。



共有機能を活用した意見交換



ミライシードの**オクリンク**の共有機能を使いお互いの詩について意見交換する。

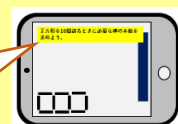
オクリンクのデジタル付せん機能を活用することで、より多くの友人と協働的に学べるようになるとともに、新たな視点で考えられるようになることが期待できます。

中学校1年生「数学」

本時の問い：正方形を10個つくるときに必要な棒の本数を求めよう。

デジタル資料の活用

ミライシードの**オクリンク**の一斉送信機能を使って配布された図を基に課題に取り組む。



画面上の図に色や線を加えたり、式を書き込んだりして自分の考えをつくり、タブレット端末の画面を示しながら説明して、意見を共有する。

クラウドを活用した共有

ミライシードの**オクリンク**の提出BOX機能を使い、全体でも共有する。



画面上で書く、消す、色をつけるなど試行錯誤しながら自分の考えをつくるができます。また、共有が容易になり、自分の考えを深めることにもつながります。

高等学校「地理総合」

本時の問い：コンビニエンスストアで販売する商品を決めるには、どんな情報が必要だろうか。

デジタル教材の活用・協働制作



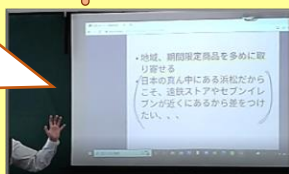
J STATMAP を使って地域の情報を収集する。



地理院地図を使って地図上で地域の特徴を分析し、まとめる。

調査、分析結果をグループでスライドにまとめ、生徒の個人端末から投影して発表する。
他のグループの発表を相互に評価したり、個人の考えをワークシートにまとめたります。

発表



GIS（地理情報システム）や統計データを効果的に用いることで、グループで協働しながら、より深い学びの実現が期待できます。

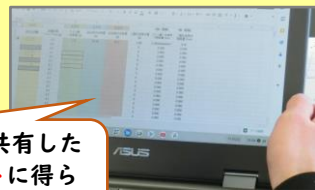
高等学校「化学基礎」

本時の問い：重曹とクエン酸をどの割合で混ぜたら1番強い炭酸水になるだろうか。

実験・データ入力

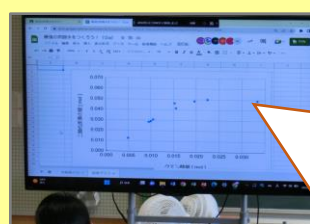


各自でクエン酸の量を変えて実験し、生じる二酸化炭素量をそれぞれ測定する。



一人一台端末を用いて、共有したGoogle スプレッドシートに得られたデータを各自で入力する。

グラフ化・共有



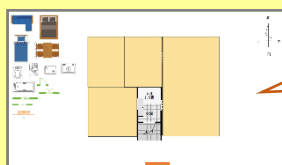
集めたデータをグラフ化して共有する。
加えたクエン酸量と発生した二酸化炭素量の関係性を、グラフから読み取り、最適なクエン酸量を求める。
得られた結果と化学反応式との関係について考える。

それぞれが異なる条件で実験し、ICT を用いて結果をまとめることで、短時間で有用なデータが得られます。

高等学校「家庭総合」

本時の問い：快適な暮らしを実現するために、住まいにはどのような工夫が必要だろうか。

デジタル教材の活用・協働制作



JamBoard を使って家の間取りを作成（教師）。



家族構成及び住要求を踏まえ、ペアで対話しながら快適に暮らすための間取りや住空間を考える。



作成した平面図は保存しておき、室内の安全を確保する住生活上の対策について考える授業につなげる。

グループの資料をクラスで同時に閲覧しながら、具体的な科学的な根拠に基づいて論理的に説明することで、学びの深まりにつながっています。

特別支援学校「生活単元学習」

本時の児童生徒の思い：季節に合わせた折り紙の付いたすてきなカレンダーをプレゼントしたいな。

学び方に応じた ICT とアナログの活用

YouTube を見て折る。

「〇〇 折り紙」で検索する。



WEB ページを見ながら相談。

教師の手本を見ながら折る。



ICT を含め、様々な学び方を経験し、よさや使い方を知っているからこそ、児童生徒は自分に合った学びやすい方法を選択することができ、教師は個に応じた支援を行っています。

静岡県の教職員みんなで ICT 活用の「一歩」を踏み出しましょう！

ICT の効果的な活用に向けて、全教職員が確実に身に付けておきたいことをまとめました。下記のチェックシートは、“**ICT の効果的な活用**”のための第一歩となります。チェックボックスに☑が付くように、児童生徒と一緒に基本的なスキルを高めましょう

効果的な活用



授業で I C T を活用するための「はじめの一歩」

ICT 機器編

☐ 入力する



キーボード タッチ ペン 音声 視線

☐ 記録する



撮影・録画・録音

☐ 保存する



☐ クラウドへ
保存する



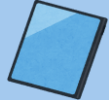
授業支援アプリ編

授業支援アプリについては、
こちらを参照ください



アプリに

☐ ログインする



Level Up!

☐ 送る



☐ 受け取る



Level Up!!

☐ やりとりする



☐ 共同編集する

☐ コメントを返す



☐ 問題を送る



☐ 問題に取り組む



Level Up!!

☐ コメントする

☐ 実態の把握

☐ 確かめる



情報モラル・セキュリティー編

守る

- ☐ ID、パスワードは人に教えるはいけないことを指導する

送る

- ☐ メッセージをどのように表現すれば、自分の思いや考えが伝わるか指導する
- ☐ 許可を得て著作物を扱うように指導する

受ける

- ☐ オンライン上にある情報の信憑性を確かめるように指導する
- ☐ プライベートとパブリックの違いを理解できるように指導する



(不適切な使い方や書き込みをする児童生徒が出てきたら、)

- ☐ 全員でルールを再確認し、より良く使うための方策を話し合う

- ☐ ICT 利用による心身の健康への影響について、理解を図る